



ながの労福協

〈ライフサポートセンター〉

一般社団法人 長野県労働者福祉協議会
〒380-8710
長野市立町978-2 労済会館内
TEL026-232-6667 FAX026-232-6672
E-mail n-rofuku@athena.ocn.ne.jp
http://www.lsc-nagano.or.jp
発行人 中山千弘
編集人 三好雅彦

第298号 2016年9月13日

2016年度労福協東部ブロック

「ライフサポート事業経験交流」開催

8月5日(金)～6日(土)、千葉市「オークラ千葉ホテル」において、労福協東部ブロック1都10県(東京・千葉・茨城・栃木・群馬・埼玉・神奈川・新潟・静岡・山梨・長野)の各地区労福協役員及びライフサポート相談員など総勢32名が参加し、事業の拡充・ネットワーク化や相談員のスキルアップなどを目的に、ライフサポート事業経験交流が開催されました。



主催者を代表して挨拶する黒河会長

冒頭、労福協東部ブロック黒河会長から「ライフサポート事業は、労福協活動の主要な活動として認識し運動を進めていかなければならない。それぞれの労福協で取り組んでいる活動内容の報告とともに、本日参加されている相談員の皆さんの相談事例の報告を受け、参加者相互の交流の場としていただきたい」との挨拶を受け、交流が開始されました。

ライフサポート事業は2005年中央労福協、連合、労金協会、全労済の4団体合意・確認事項に基づき開始されました。具体的には地域を拠点とし

たワンストップサービス(総合生活支援)の実現に向けた体制作り、相談事業を中心とした取組みが行われてきました。

今回の経験交流プログラムは、講演と各県労福協担当者や相談員によるライフサポートセンターの特徴的事例や懸案事項の報告、意見交換で構成されました。

講演は、①千葉県労福協で具体的な相談をされている精神保健福祉士の荻田尚晴氏から、「最近の相談傾向や相談員としての心構えなどについて」、②社会福祉法人「生活クラブ風の村」理事長の池田徹氏から「ユニバーサル就労等の取り組みについて」講演が行われました。

精神保健福祉士の荻田先生からは「複数回の他相談場面利用者や、引きこもり者もしくはその家族からの相談が増加傾向にある。相談者は話を聞いてくれる人を求めている。どのような支援が必要かを探り、今行えることを具体的に提案することが大切である」など、現場の経験からお話をいただきました。また、「生活クラブ風の村」

の池田理事長からは、「ユニバーサル就労の取り組み報告があり、「障がい者手帳の有無に関わらず、障がいがあったり、生活困窮状態にあるなど、さまざまな理由で働きづらい状態にある方を迎え入れ、ともに働くことをめざし、現在の雇用形態にはなじみにくい方であっても、例えば、短時間や週1回かするなど、個性や事情に合わせた多様な働き方を作り出す活動を展開している」との報告を興味深く拝聴することができました。

その後、各地域の相談員から相談事業に携わっている中での悩み、苦しみなどについて意見交換が活発に行われました。最後に、1都10県の経験交流をさらに進めて日常的なネットワークにしていくことを確認し、2日間の日程を終了しました。



ライフサポート事業経験交流の様子

連合長野・県労組会議・県労連・労働金庫
全労済・生協連・住宅生協・県勤労協・県退連

勤労者をサポートする”13地区労福協”2016年度活動計画

安曇野地区労福協

<活動内容>.....

1. 生活あんしんネットワーク事業
 - ①暮らしなんでも相談事業
 - ②福祉事業の地域展開支援
(気づきキャンペーン、マネートラブルセミナー)
 - ③生涯生活サポート研修会
2. 自治体との意見交換
3. 労福協イベントの再開
4. メーデー



上伊那地区労福協

<活動内容>.....

1. 相談体制の強化
 - ①暮らしなんでも相談
 - ②失業・離職者支援
 - ③職業紹介・能力開発 (就職支援)
2. 勤労者体育大会の開催
3. 労福協まつりの開催
4. 組合・団体間の交流
5. 構成団体との連携と各種セミナー・研修会の開催



塩尻地区労福協

<活動内容>.....

1. ボランティア活動
 - ①福祉施設等ボランティア活動
2. メーデー
3. 交流活動
 - ①スポーツ交流大会
(ボウリング)
 - ②市民交流会バスツアー
4. 市政要望
5. 福祉研修会
6. 労福協フェスティバル
7. 新春パーティー
8. 労福協情報の発行
9. 勤労者福祉促進委員会の活動
10. 労働懇談会



諏訪地区労福協

<活動内容>.....

1. 相談活動の継続実施
 - ①失業・離職者支援活動
*無料職業紹介事業を「ジョブながのライフサポートセンター諏訪」として活動展開
 - ②生活、なんでも相談ダイヤル
2. 長野県勤労者体育大会予選会の開催
3. 福祉事業団体との合同セミナーの開催
 - ①労金との合同セミナーの開催
*高校生のためのクレサラセミナー
*退職前セミナー
 - ②全労済との合同セミナーの開催
 - ③住宅生協との合同セミナーの開催
- 4.暮らしに役立つセミナーの開催
 - ①県労福協・暮らしサポートセンター等主催セミナーへの参加促進
 - ②地区独自セミナーの企画・開催
5. 交流を目的としたイベントの開催
 - ①ボウリング大会の開催
6. 組織内学習会の実施
7. 地域貢献・環境保全活動への参加



木曽地区労福協

<活動内容>.....

1. 総会・新春交歓会
2. 第87回木曽地区メーデー
3. 第13回木曽地区ゴルフコンペ
4. 労福協木曽地域セミナー



飯田地区労福協

<活動内容>.....

1. 機関会議の設置
2. 生活あんしんネットワーク事業推進
3. 各種研修会の開催
 - ①生涯サポート研修会
 - ②労福協「合同実務担当者研修会」(労金・全労済合同研修会)
 - ③応急手当講習会
4. 勤労者の交流
 - ①飯伊地区勤労者交流ソフトバレーボール大会の開催
 - ②飯伊地区勤労者体育大会の開催
5. 知らせる活動
 - ①「飯田労福協だより」の発行
 - ②「飯田りんごん」への参加
 - ③飯伊地区メーデー
 - ④飯田地区労働福祉団体賀詞交換会
6. 労働団体・福祉事業団体等との連携と組織強化
 - ①構成団体との連携
 - ②行政・NPO等との連携
 - ③「飯伊地区暮らしサポートセンター」の運営への参加
 - ④勤労者まつりの共催
 - ⑤生活困窮者自立支援制度事業
 - ⑥組織強化の取組み



松本地区労福協

<活動内容>.....

1. 生活あんしんネットワーク事業の取組み
2. 市政要求 (提言)
3. 幹事会・事務局会議の開催
4. メーデーの実施
5. 勤労者文化祭の実施
6. 勤労者体育大会の実施
7. 労金・労済・住生の研修会の開催
8. 各種福祉研修会の開催
9. ゴルフコンペの実施
10. 新春交歓会の実施
11. 各種審議会への委員選出
12. 失業・離職者支援



労福協活動に参加しよう!

北信地区労福協

<活動内容>

1. 助け合える地域社会実現への活動
2. 未組織・市民に対するPR
3. 「暮らしなんでも相談事業」のPR強化
4. 独自事業及び須高地区労福協との共催事業
 - ①高水地区勤労者体育大会の開催
 - ②「春のバスハイク」の実施
 - ③地区での「生活あんしんネットワーク事業」の取組み
 - ④組織拡大の取組み
 - ⑤NPO・ボランティア団体との連携
 - ⑥広報活動の推進
 - ⑦親子アニメ祭への参画
 - ⑧勤労者フェスティバルの開催
 - ⑨新春交歓会の開催
 - ⑩自治体との連携



須高地区労福協

<活動内容>

1. 親子ふれあいバスハイク
2. 高水地区勤労者体育大会
3. 各団体役員交流会
4. 勤労者チャリティー映画祭
5. 新春パーティー
6. 生涯サポート研修会
7. 須高地区暮らしサポートセンター
*クレサラセミナーの開催など
8. 高校生のためのマネートラブル講座
9. 自殺防止月間の取組み
10. 組織拡大の取組み
11. 県労福協活動への参加やその他共催事業の取組み



長野地区労福協

<活動内容>

1. 相談業務
 - ①くらし・なんでも相談ほっとダイヤル
 - ②無料職業相談
2. 第87回県中央メーデー
3. 第33回長野地区囲碁・将棋大会
4. 第34回長野地区勤労者体育大会
5. 親子ふれあい行事の企画
6. 良きパートナーを探そう「PART31」
7. 生涯生活サポート研修会
8. 車いす無料貸し出し
9. 福祉事業団体との連携強化
 - ①若年層研修会・学習会の開催
 - ②住宅フェアの開催
 - ③長野市勤労者共済会との連携
10. NPO組織、市民団体との連携
11. 自治体要請行動
12. その他
 - ①「長野地区労福協ニュース」の発行



上小労福協

<活動内容>

1. 第87回上小地区メーデーの実施
2. 第53回上小地区勤労者体育大会の実施
3. 上田市労政懇談会の開催
4. 労福協「住宅・不動産フェア」の開催
5. 地区勤労者・家族のふれあいを目的とした行事開催
 - ①アニメまつり
 - ②ディズニールゾートツアー
 - ③大人のバスツアー
 - ④親子そば打ち体験教室
6. 加盟労組の家族イベント協賛
7. 機関紙「ろうふくきょう」の発行
8. 上小地区合同研修会の実施
9. 生涯生活サポートセミナーの開催
10. 公益に関わるセミナーの開催
11. 各種相談事業
 - ①地域に働く労働者の相談窓口
 - ②暮らしなんでも相談ほっとダイヤルの対応
 - ③無料職業紹介事業の実施

大北地区労福協

<活動内容>

1. 労働会館の維持・管理・運営
2. 労働者福祉活動全般
 - ①知らないと損をする！
退職前後の準備セミナー
 - ②「勤労者のための住宅取得応援セミナー」
 - ③悪徳商法被害防止「消費者セミナー」
 - ④高校生のためのマネートラブル解消講座
 - ⑤相続と遺言の基礎セミナー
 - ⑥未組織勤労者の勤労者互助会加入促進活動
 - ⑦暮らしサポートセンターへの団体加入促進
 - ⑧労働者福祉に関わる相談業務を継続



佐久地区労福協

<活動内容>

1. 「暮らしなんでも相談事業」の充実
2. 「無料職業紹介事業」の利用促進
3. 佐久地域における貢献活動
4. セミナーの開催
5. 金融、共済事業の地域展開支援
6. 勤労者体育大会・青年女性交流会
7. 「勤労者フェスティバル」
8. 自治体への提言活動
9. 会員拡大と未組織勤労者の福祉事業団体利用促進
10. メーデー
11. 失業・離職者支援



長野労済第61回通常総代会・ 全労済長野県本部第7回代表者会議 開催



通常総代会で挨拶する関本部長

2016年7月29日(金)伊那プリンスホテル(箕輪町)において、「長野県労働者共済生活協同組合 第61回通常総代会」・「全労済長野県本部 第7回代表者会議」を開催し、出席総代148名(委任

次に、「全労済長野県本部 第7回代表者会議」の議事審議が行われました。「2015年度活動報告、2016年度活動計画(案)、全労済長野県本部経営委員について」の付議事項3点が提案され、5名の総代による意見要望後、すべての議事が原案通り承認されました。承認いただいた「全労済長野県本部2016年度活動計画」の基本方針は次のとおりです。

- 一、運営組織との連携・協同による労済運動を展開します。
- 二、協力団体とともに進める事業推進活動を展開します。Ⅱ全労済の共済利用を高める運動
- 三、地域生活者への共済利用拡大をはかる活動を展開します。Ⅱ地域に根ざした活動
- 四、組合員の安心と信頼につながる事業推進活動を実行し、広く社会に貢献する協同組合組織として責任を発揮します。

通常総代会は、若林理事の開会挨拶後、議長団に依田誠史総代(UAゼンセン)、森勝弘総代(上小地区)が選出され議事に入りました。議事に先立ち、関本部長より職域・地域で推進されている労働者共済活動に対する感謝と2016年度活動計画への協力を要請の挨拶がありました。

ご来賓を代表して、長野県産業労働部労働雇用課長の酒井裕子様、長野県労働者福祉協議会理事長の中山千弘様よりご祝辞をいただきました。

続いて、「長野県労働者共済生活協同組合 第61回通常総代会」の議案審議が行われました。「2015年度事業報告および決算報告、剰余金処分(案)、2016年度事業計画および予算設定、役員報酬額設定および役員退任慰労金支給」など、第1号議案から第11号議案が提案され、質疑応答の後、すべての議案が原案通り承認されました。

最後に、2016年度の事業目標達成をめざし、関本部長の先唱で団結ガンパローをして閉会となりました。2016年度は6月1日よりスタートしております。基本方針に沿った活動を展開することで皆さまのご期待に応えられる全労済となるよう役員一丸となって邁進してまいります。どうぞよろしく願います。

2016年度 顧問弁護士会議開催される

県労福協弁護士会議が8月19日(金)松本市の美ヶ原温泉「ホテル翔峰」において開催されました。冒頭事務局から、長野県労働者福祉協議会の一年間の活動報告と2016年度の方針ならびに法律相談の現状等について提案し、確認されました。

その後の意見交換の中では、相談窓口の対応についての課題提起と、県全体の相談件数では大きな変動が無い中、相談内容について、労働問題・雇用関係の相談が減少し、離婚や相続等個人に関連する相談が増加傾向にある状況について、弁護士の皆様による活発な意見交換が行われました。



2016年弁護士会議の様子

多重債務者 無料相談会のお知らせ

借金に関するトラブルで、一人で悩んでいませんか?
弁護士・司法書士による多重債務者無料相談会が開催されます。
借金問題でお困りの方は、この機会に相談窓口へお出かけください。
面談は予約制で行いますので、事前に以下の予約先へお電話ください。
(※予約は9月23日(金)から10月5日(水)までの土・日曜を除く8:30~17:00の間に受け付けています。)



- 日時 平成28年10月6日(木)
- 会場/開催時間(予約・お問い合わせ)
- ・北信消費生活センター/12:00~19:00 (県長野保健福祉事務所庁舎1階) ☎026-223-6777
- ・中信消費生活センター/10:00~17:00 (県松本合同庁舎4階) ☎0263-40-3660
- ・南信消費生活センター/10:00~17:00 (飯田市美術博物館隣) ☎0265-24-8058
- ・東信消費生活センター/10:00~17:00 (県上田合同庁舎6階) ☎0268-27-8517

労働者福祉東部ブロック協議会

「第10期(後半)福祉リーダー塾」に参加して

長野県労働金庫本店営業部 久保 吉弘

6月に開催された「第10期(前半)福祉リーダー塾」に引き続き、「第10期(後半)福祉リーダー塾」へ参加させていただきました。この福祉リーダー塾は、①超高齢化社会や成熟社会に対する新たな運動課題とその方向性の探求と実践、②労働組合や労福協、労働者協同組織である労働金庫、全労済運動の普遍的な理念やその社会的役割と使命の発揮、③豊かな運動経験や専門性と市民社会との融合による、次世代型運動の創造を主な目的として開催されております。

後半の福祉リーダー塾では3つの講義とグループワークを通じて、労働者福祉運動についてさらに知識と理解を深め、9月30日のフォローアップ研修で発表が



全体会議でグループワークの報告をする久保さん

予定されている小論文にて提起する問題意識について議論してまいりました。講義においては、①「労働組合・労福協とNPOの連帯と協働」②「共益と公益」今、労働組合と協同組合に求められる労働者福祉運動の課題」③「ビジネスユ二オニズムからソーシャルユ二オニズムへ」働くことを軸とする安心社会の実現に向けて」を受講しました。講義を通じて、社会問題が山積している日本において私たち運動体が果たす役割を再確認し、その運動の輪を広げ、仲間を増やす取り組みについて学びました。

グループワークでは前段の講義を受けて、9月30日に予定されているフォローアップ研修にて発表する小論文のテーマとその問題意識について、講師の先生方にも参加していただきながら活発な意見交換が行われました。労働者福祉運動を担う様々な地域・立場の方との意見交換はとても刺激的なものであり、この福祉リーダー塾での経験はとて有意義なものとなりました。

最後に、このような機会をいただきましたことに感謝し、この福祉リーダー塾での経験を活かして今後の労働者福祉運動のさらなる発展を目指していきたいと思っております。

2016 長野県協同組合 **入場無料** 10月2日(日) A10:30~P2:30

フェスティバル

長野市内の協同組合・行政・諸団体による多彩なイベントが盛りだくさん!

会場 エムウェーブ エントランスプラザ・会議室
長野市北長池195 (須坂長野東ICから車で5分)

長野県の特産品、加工食品、野菜、くだもの大集合!!

- しゃぶしゃぶ ● 信州そば ● 試食品多数!
- 山菜加工品 ● ジュース
- 野菜・くだもの 他

共済、医療、健康福祉について学ぼう!

- 無料健康チェック(血圧チェック、体組成チェック、生活習慣の見直し、お口の健康チェック、血管年齢チェック、骨密度チェック)

環境、省エネ、お家のいろいろなど、楽しんで学べる体験コーナー!!

- じゃがいも収穫体験 ● コースター・かご作り
- マイ箸作り ● 食育クイズ ● マイバッグ作成
- スタンプ工作 他

★ **報道写真パネル展「福島記録」** ~被災地の今を伝えます~
東日本大震災における東京電力福島第一原発事故以降、激動の日々を送る福島県の足跡や現状を報道写真を通じて伝えます。
ふくしま応援! 産品販売コーナー

★ **栄村・白馬村・小谷村・木曾町・王滝村の特産品販売** 食品、工芸品など展示・販売します

★ **お子さま お楽しみコーナー** ふあふあ(エアートランポリン) **入場無料!**

★ **ステージイベント** 金管バンド演奏、フラダンス、コカリナ演奏、マジックショー 他

※イラストはイメージです。
※イベント内容は一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催/長野県協同組合フェスティバル2016実行委員会 ● お問い合わせ/実行委員会事務局 ☎026-261-1380

勤労者の力を結集し、特殊詐欺の撲滅を目指しましょう!

県労福協は地区労福協と連携し取り組みます。

I. 特殊詐欺被害、今年も多発

今年上半期の特殊詐欺被害認知件数	今年	昨年比(同時期)
特殊詐欺合計	135件	+3件
還付金等詐欺	29件	+14件
オレオレ詐欺	59件	±0件
県の消費生活センターに寄せられた「架空請求」に関する相談件数	486件	+29件

(平成28年6月末現在 長野県警察本部調べ暫定値)

(1月～6月までのPIO-NET(全国消費生活情報ネットワークシステム)による集計)

過去6年間で
最悪となった
昨年と同じ時期と
比べて、被害件数は
上回っています。



II. 今年上半期の特殊詐欺発生傾向

①被害金額の小口化

今年6月末までの県内の被害は135件、3億1,316万6,380円。昨年の同時期は132件、4億3,176万6,419円であり、比較すると今年のほうが3件多いにもかかわらず1億1,860万39円の減少。1件あたりの被害額の平均で見ると、昨年は約327万円でしたが、今年は約232万円と約95万円減少していることとなります。1件あたり1,000万円以上の被害も出ていますが、全体的には昨年から見られた「金額の小口化」の傾向がより強まっています。

②被害地域の集中化

昨年の同時期では34市町村で被害報告がありました。今年は20市町村。市町村数で見ると減少していますが、**長野市は約1.4倍、松本市が約1.8倍**と著しく増加しています。

③還付金等詐欺の被害が著しく増加

市町村や保健福祉関係の行政職員等をかたって電話をかけてくる還付金等詐欺の被害が昨年比+14件と大幅に増加しています。特に、女性の被害が53%→79%と26ポイントアップしています。

また年代別で比率を見ると、80代は昨年同期比で40%→4%と36ポイント減少していますが、**60代は0%→24%**に、**70代は60%→72%**にそれぞれアップしています。

III. 特殊詐欺に対抗する心得!

- ①ATMの操作で医療費や税金などの還付金が支払われることは絶対ありません!
- ②「電子ギフトカードの番号を教えて」は、詐欺!
- ③身に覚えのないお金の請求は無視!
- ④「携帯電話の番号が変わった・なくした・落とした」という連絡には、必ず前の番号にかけて確認!

くらし・なんでも相談

シリーズ
No.64



北川 哲男
司法書士

特殊詐欺について



【事例①】
よく、最近の特殊詐欺の報道などで「劇場型が増加」と言われていますが、「劇場型の特殊詐欺」ってどのようなものですか。

【回答】
劇場型とは、物語のように進行する詐欺の口のことを言います。

例えば、「年金管理機構の者ですが」と電話がかかり、「山田花子さんですね」とフルネームを確認され、「あなたの年金情報流出しています。放置しておく、受給される年金が目減りするので、解決を望むなら、対応が必要です」などと切り出す、周到にストーリーが準備されている詐欺の事例のことです。

本事例では、被害者は、まず、フルネームで問いかげられることにより、実在しない「年金管理機構」を公共機関と信じてしまうところから始まり、結局、「一刻も早く抹消手続きをしないと大変

なことになります」などの言葉で追い込まれ、抹消手続き代行料を支払ってしまふというものです。

劇場型の詐欺事例としては、非上場株式を上場間際と騙して高額で売りつける金融詐欺が多くありましたが、最近では、社債、社員権、イラクディナールなど日本ではほとんど流通しない通貨、海外の不動産、リゾート会員権、老人ホームの利用権、水源地の持ち分、医療機関債など多岐にわたり、電話には多人数が関係者として登場し、口口もどんだんだん大胆になってきていると言われています。

【事例②】
生前、夫から遺言書を書いたからと、コピーを預かっていました。夫が亡くなり、相続の手続きを行うつもりでしたが、遺言書の原本がどうしても見つかりません。このような場合、どうしたらよろしいでしょうか。

【回答】

自筆証書遺言は、その原本が見つからない以上は、遺言の効力は生じないということになりますので、残念ながら、その遺言書に基づく相続手続はできないということになります。

その場合は、法定相続人間での遺産分割協議により手続きを行うこととなりますが、遺産分割協議が遺言の内容と大幅に異なる結果となり、その後にくら探しても見つからなかった遺言書が出てきた場合は、大変なことになってしまいます。

このようなことから、自筆証書により遺言をするときは、遺言証書が必ず発見される場所に保管しておくことが重要です。

また、自筆証書遺言によるこのような「事故」を防ぐ方法としては、原本が公証人役場に保存されている公正証書による遺言することが勧められます。

毎月第2土曜日は、弁護士・司法書士・特定社会保険労務士など専門家相談員による相談

くらし・なんでも相談
ぽっとダイヤル

0120-36-9026

塩尻地区労福協 フェスティバル開催

7月16日の土曜日、塩尻レザンホール前庭を会場に、「塩尻地区労福協フェスティバル」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、朝から続々と親子連れの参加者が詰めかけました。午前中は、ろうきん塩尻支店運営委員会主催の「チャリティ親子アニメまつり」を行い、多くの親子連れが映画を鑑賞しました。

午後には「ふれあい屋台村」がオープンし、大人気の綿あめ、ポップコーン、焼きそば、寿司などが販売され、笑顔で食事をするファミリーの姿が大勢見受けられました。



大人気の「ピエロのまーくん」

ゲームコーナーやふわふわトランポリン、パフォーマンス「ピエロのまーくん」の前にも子ども達が集まり楽しく盛り上がりました。また、昨年に引き続き実施した「琉球太鼓演奏」も威勢がよく、踊りも交えた力強い演奏で大変盛り上がりしました。

笑顔と歓声にあふれる一日を過ごしました。

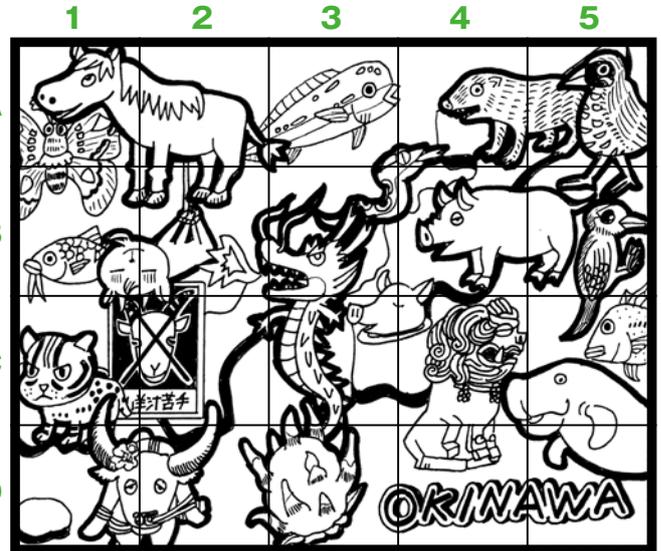
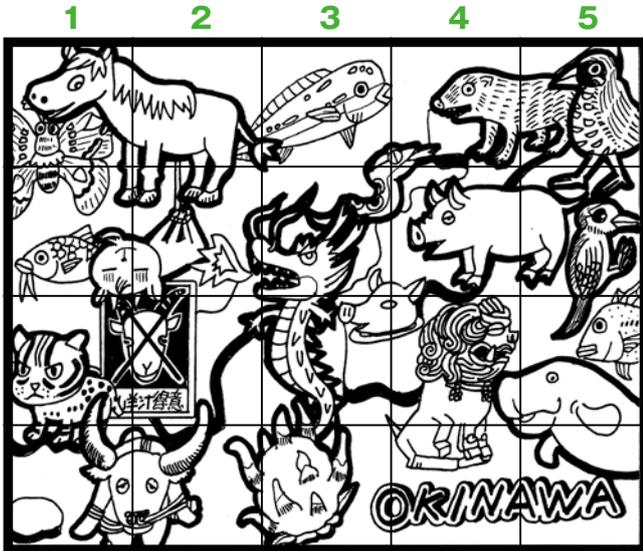


力強い琉球太鼓の演奏

ご家族で楽しむ

8つのまちがいさがし

下に並んだ二枚の絵を見比べて違っている箇所を8つ探して下さい。日頃使わない脳への刺激になるかと思ひます。



(画：ろうきん 西澤 修氏)

プレゼントの応募方法は、FAXとホームページからも応募できます。

- クイズの答え (8つ)
- 労福協の機関紙に対する意見・要望を何か一言。
- 住所・氏名・年齢・性別・所属団体(単組名) 又は勤務先。
- 正解者の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
- 締切り10月15日



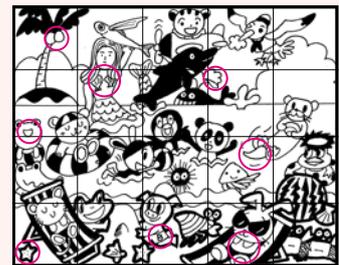
機関紙「労福協」まちがいさがし

http://www.lsc-nagano.or.jp/

プレゼントの応募方法

- ★その1 長野県労福協のホームページ下のバナーから応募ください。
- ★その2 FAX番号 026(2)32)6672
- ★その3 官製はがき (宛先は表紙にあります。) いずれの方法による応募の場合も次の項目を必ずご記入ください。

前回の正解は



- 当選者(5名・敬称略)
- 野沢 洋子 (下諏訪町)
 - 渡邊真由美 (塩尻市)
 - 中沢 稔 (下田市)
 - 下平 道子 (長野市)
 - 久保 吉人 (千曲市)

日々是好日

兎に角八月は色々ニュースの多い月だったのではないかと。リオ五輪。大活躍の日本人選手の話題が賑わい、イチロー選手の三千本安打達成、ポケモン、震度7の誤報、天皇陛下のお言葉、高校野球、終戦の日、極暑、台風、人気グループS.M.A.Pの解散等々話題に事欠かない月だった。▼それぞれのニュースが報道されたとき、自分の周りに置き換えながら考えさせられることが多かった。その中で天皇陛下自らがお言葉を発せられたときに、不安を感じ真剣に考えさせられた。

天皇の生前退位については、国会だけの議論ではなく、国民全体での議論が必要になってくると思う。▼さてさて、そのような難しい話でなく、今後の自分自身のあり方(老後)について考える機会となった。四十年程前は確か定年が五十五歳であったと記憶している。それが六十歳定年が一般的となり、今では六十五歳までの延長雇用が広がり始めている。本来であれば定年まで一生懸命働き、定年後は年金で余生を送る予定であったものが、年金が徐々に減額となり、今のご時勢では何時まで働き続けなければならぬか。▼国の年金運用も三ヶ月で約五兆円の資産減少になった報道があった。これまで真面目に年金保険料を納めてきたのに、ガッカリしてしまった。▼公助が期待できない今、労福協が進める共助による活動が更に重要になってくると考える。また、自助努力も必要だ。ただ、老後のために今の生活をどこまで切り詰めて、どの程度の貯えが必要なのか。▼そんなことを考えてながら、健康とお財布を考慮、今夜の晩酌の量をチョット控えめにした。これも自助努力か? (雅)

